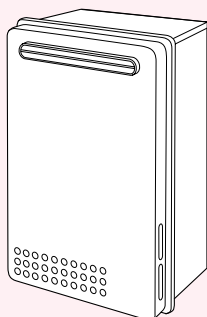


ガス給湯器

133-0070/0072/0075/0080/4090/N008型
133-4110/4112/4115型

< BL認定品 >

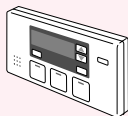
型式名	GQ-2417WXA	YS1654R
	GQ-2417WXA-T	YS1654RT
	GQ-2417WXA-TB	YS1654RM
	GQ-2417RXA	
	GQ-1617RXA	
	GQ-2417WXA-FFB	



(133-0070型)



(台所リモコン)



(浴室リモコン別売品)

もくじ

必ずお守りください(安全上の注意).....	1
各部のなまえとはたらき(機器本体).....	5
各部のなまえとはたらき(リモコン).....	7
台所リモコン.....	7
浴室リモコン.....	9
初めてお使いになるときは.....	11
使いかた	
浴室から台所リモコンのチャイムを鳴らす.....	11
時計を合わせる.....	12
お湯を出す/お湯の温度を調節する.....	13
給湯保温機能の上手な使いかた.....	15
給湯保温する.....	16
給湯保温の開始時刻を設定する(給湯保温予約).....	17
お風呂のお湯はりをする オート止水.....	19
お湯はり温度(ふる温度)を調節する.....	21
お湯はり湯量を調節する.....	22
各設定を変更する/連絡先を表示させる.....	23
(リモコンの音量・音声ガイド、表示の節電)	
凍結による破損を予防する.....	25
日常の点検・お手入れのしかた.....	27
故障・異常かな?と思ったら.....	29
アフター・サービスについて.....	34
主な仕様.....	35

取扱説明書

大阪ガス

- このたびは大阪ガスのガス給湯器をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
- ・この説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。
 - ・別添の保証書の内容もよくお読みいただき、必ずお買い上げ日・販売店名等の記入を確かめてください。
 - ・この説明書はいつでもご覧になれるところに保管してください。



必ずお守りください(安全上の注意)1

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

■ 危害・損害の程度による内容の区分

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険が切迫して生じることが想定される内容です。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

■ 注意・禁止内容の絵表示

高温注意	感電注意	必ずおこなう	アース必要	禁止	火気禁止	接触禁止	ぬれ手禁止	分解禁止

⚠危険

! ガス漏れに気づいたときは、

1. すぐに使用をやめる
2. ガス栓を閉める
3. 【屋内設置形の場合】
窓や戸を開ける
4. 販売店または、もよりの大阪
ガスに連絡する



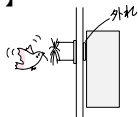
! ガス漏れ時は、絶対に

- ・火をつけない
- ・電気器具のスイッチの入・切をしない
- ・電源プラグの抜き差しをしない
- ・周辺の電話も使用しない

火や火花で引火し、
火災の原因になります。

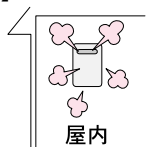


! 給排気筒が外れたり、穴があいたり、つまった状態で使用しない
【屋内設置形の場合】



排気ガスが室内に漏れて、
一酸化炭素中毒の原因になります。

! 屋内に設置しない
【屋外設置形の場合】



一酸化炭素中毒の原因になります。

⚠警告

! 異常燃焼・異常臭気を感じたときや、地震・火災などの緊急時は、次の手順に従う

1. 給湯栓を閉める
2. 運転スイッチを「切」にする
3. ガス栓・給水元栓を閉める
4. 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する

火災・感電・故障などの予防のため。

! シャワー使用時は、手で湯温を確認してから使用する



入浴時も、浴そうの湯温を手で確認してから入浴する



やけど予防のため。

! シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転「切」にしない
高温に変更されたときのやけど防止のため。また、低温に変更されたり運転「切」にされると、冷水になって使用者がびっくりする原因になります。

! 燃えやすい物をまわりに置かない
(洗濯物、新聞紙、灯油など)

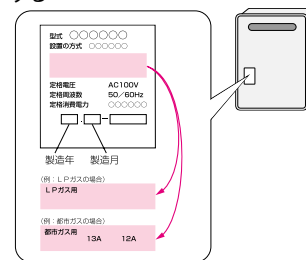


火災の原因になります。

! 灯油、ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器のまわりで使用しない

火災の原因になります。

! 必ず銘板に表示のガス・電源で使用する



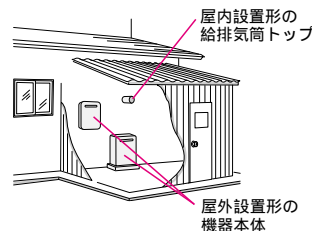
表示以外のガス・電源を使用すると、異常燃焼し、火災や感電の原因になります。わからない場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

! 子供を浴室内で遊ばせない
子供だけで入浴させない
思わぬ事故の原因になります。

! 機器の設置・移動および付帯工事は、販売店に依頼する
安全に使用していただくため。

! 修理技術者以外は修理・分解・改造をしない
火災や故障の原因になります。

! 増改築などで屋内状態にしない
(波板囲いなどをしない)



一酸化炭素中毒・火災の原因になります。

必ずお守りください(安全上の注意)-2

(つづき)

スプレー缶を、機器本体や排気口・給排気筒トップのまわりに置かない、使用しない
熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発・火災の原因になります。

屋外に設置しない【屋内設置形の場合】
雨水が浸入したり、炎が風にあおられたりして、故障や火災の原因になります。

燃えやすい物とは離す(樹木、木材、箱など)
【屋外設置形の場合】
上方 30cm以上
左 15cm以上
前方 60cm以上
右 15cm以上
【屋内設置形の場合】
上方 4.5cm以上
左 4.5cm以上
前方 60cm以上
右 4.5cm以上
印はアフターサービス上の寸法です。
火災予防のため。

注意

必ずアースする
機器が故障した場合、感電の原因になります。

電源プラグはぬれた手でさわらない
感電の原因になります。

電源プラグのほこりはときどき取る
ほこりがたまると、発火の原因になります。

電源コード、電源プラグの破損・加工をしない
束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を乗せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工しない。
感電、ショート、火災の原因になります。

太陽熱温水器とは絶対に接続しない
お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器の故障の原因になります。

給湯、シャワー、お湯はり以外の用途には使用しない
思わぬ事故を予防するため。

電源プラグは、コードを持たずにプラグをプラグを持って抜く
コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不充分だと、感電や火災の原因になります。

使用中や使用後しばらくは、排気口・給排気筒トップ・給排気筒付近に触れない
やけど予防のため。

乾電池に関する注意(お願い)
機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。
もしお客様で旧機器の処理される場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

お願い

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない
雑用水として使用してください。

業務用のような使いかたをしない
製品の寿命を短くします。
業務用のような使いかたをした場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しない
給湯栓の先端に泡沫水栓が内蔵されているものは、ときどきフィルター(金網)を掃除する
わからない場合は、販売店または、もよりの大阪ガスに確認してください。

機器のまわりはきれいにしておく
まわりが雑草、木くず、箱などで雑然としていると、機器の内部にゴミブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

停電後または電源プラグを抜いたあとは、設定した現在時刻を確認する

停電すると運転が停止し、また設定した現在時刻がリセットする場合があります。

凍結による破損を予防する(☞P25,26)
凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

長期間使用しない場合、必要な処置をする(☞P26)
凍結および万が一のガス漏れを防止するため。

積雪時には給気口、排気口、給排気筒トップの点検、除雪をする
雪により給気口、排気口、給排気筒トップがふさがれると不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

使用時の点火、使用後の消火を確認する
ガス事故防止のため。

この機器の純正部品以外は使用しない
思わぬ事故の原因になります。

リモコンを分解しない
故障や、思わぬ事故の原因になります。
リモコンの掃除には、ベンジンや油脂系の洗剤を使用しない
変形する場合があります。
浴室リモコン・防水型増設リモコンに故意に水をかけない
防水型ですが、多量の水は事故の原因になります。
台所リモコン・増設リモコンに、水しびきをかけない、蒸気を当てない
炊飯器、電気ポットなどに注意。
故障の原因になります。

運転スイッチ「切」時にはお湯側から水を出さない
お湯を出すときには、運転スイッチ「入」を確認してください。
運転スイッチ「切」時にお湯側から水を出すと熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になります。
シングルレバー混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

浴そう、洗面台はこまめに掃除する
湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシ(網入りガラスなど)に当たらないように設置する(増改築時注意)
ガラスが割れたり変色する原因になります。

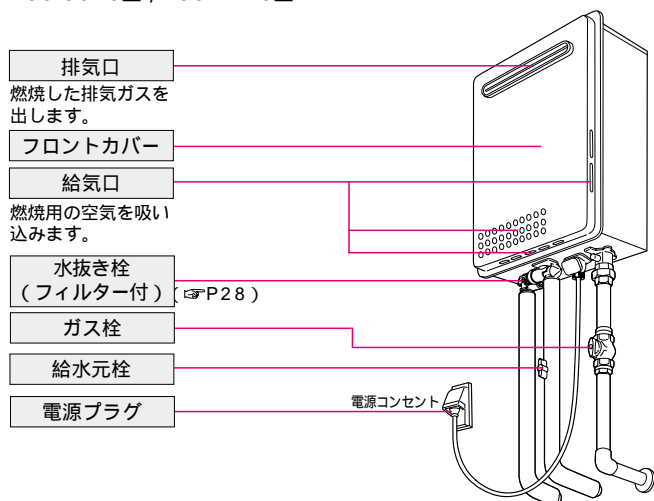
水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない井戸水または温泉水で使わない
水質によっては、機器を腐食させる原因になります。

機器に法定のラベルが貼付されていることを確認する【屋内設置形の場合】
「特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律」の対象であり、法定資格を有する者以外、設置・移設できません。

各部のなまえとはたらき(機器本体)

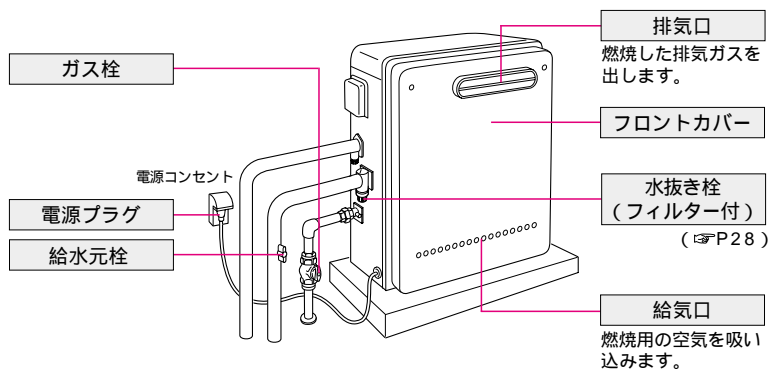
【屋外設置壁掛形】

133-0070型, 133-4110型



【屋外設置据置形】

133-0080型, 133-4090型



上のイラストは施工例です。

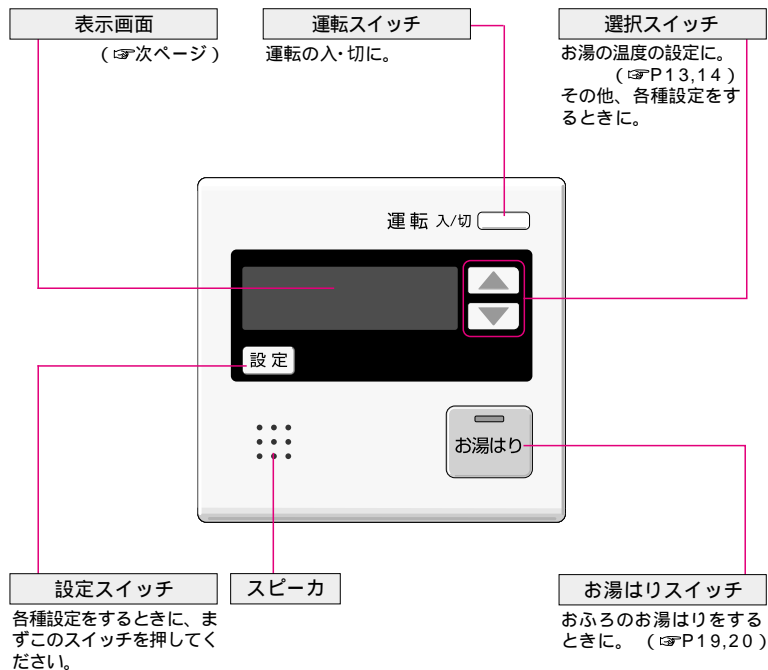
配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。

屋外設置形	PS設置前方排気形	PS設置後方排気形
	133-0072 型 133-4112 型	133-0075 型 133-4115 型
屋内設置形	屋内設置強制給排気形 (二重管)	
	133-N008 型	

各部のなまえとはたらき(リモコン-1)

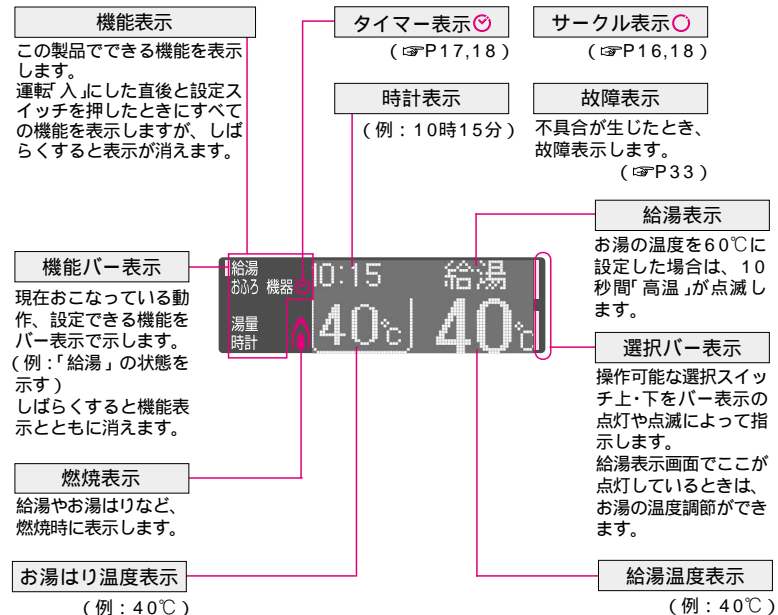
台所リモコン

(台所などに取り付けます)



表示画面

下記の表示画面は説明のため、基本的なもののみ表示したものです。
実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。

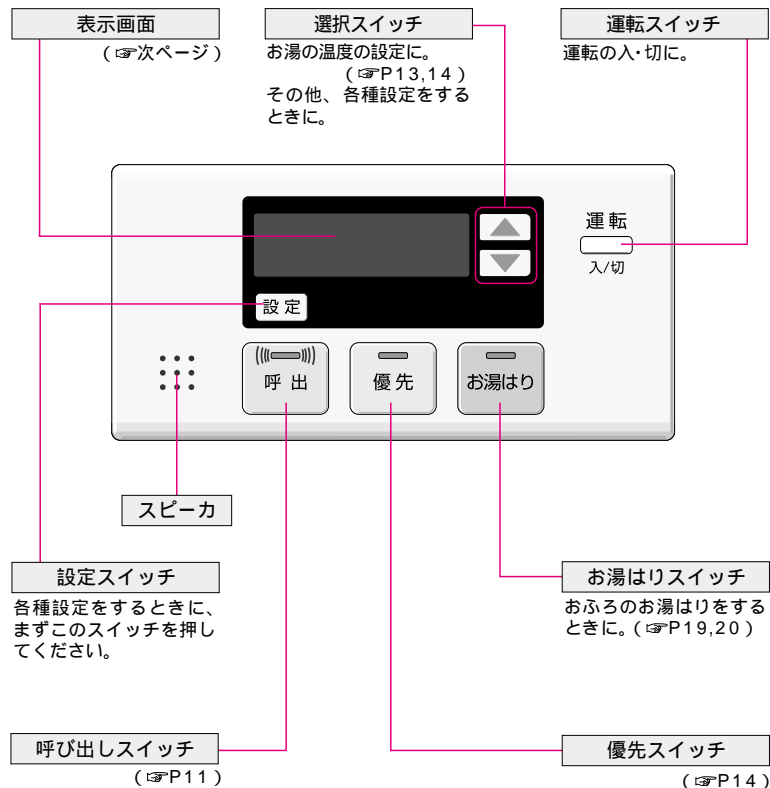


その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

各部のなまえとはたらき(リモコン-2)

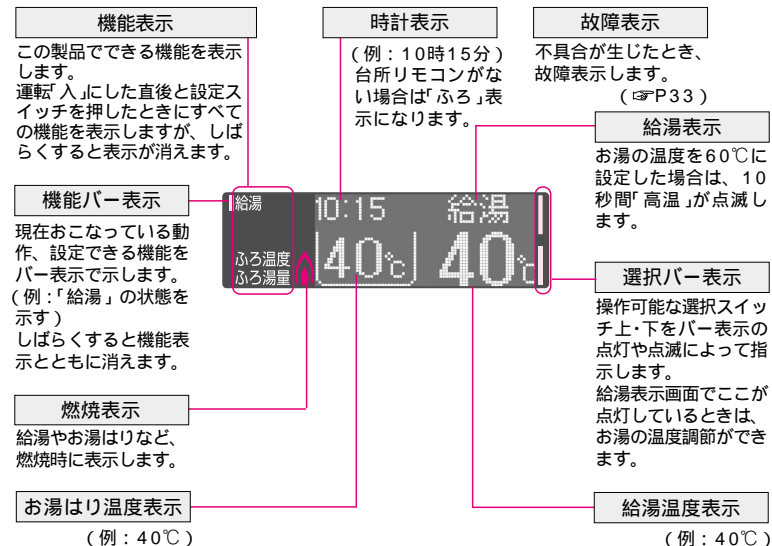
浴室リモコン(138-0048型)<別売品>

(浴室に取り付けます)



表示画面

下記の表示画面は説明のため、基本的なもののみ表示したものです。
実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。



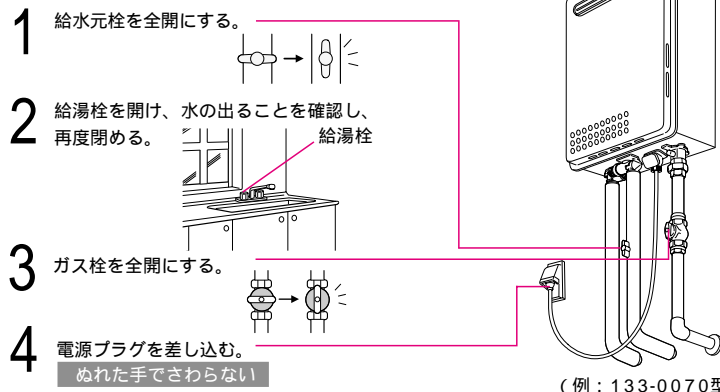
その他の別売リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

初めてお使いになるときは

初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1～4の手順でおこなってください。

(屋外設置壁掛形で説明していますが、その他の機種でも手順は同じです)

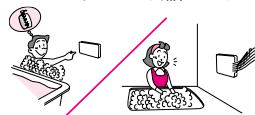


使いかた 浴室から台所リモコンのチャイムを鳴らす

(浴室リモコン)

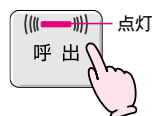


浴室にいたときに、何か必要な物があつたり気分が悪くなって人を呼びたいとき、呼び出しスイッチで知らせることができます。
(インターホンではないので会話はできません)



呼び出しスイッチを押す

チャイムで呼び出します。



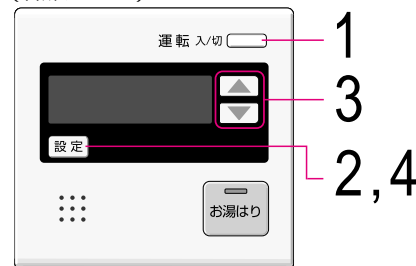
呼び出しスイッチは運転スイッチの「入・切」に関係なく使用できます。



押し続けると、手を離すまで呼び出し音をくりかえします。

使いかた 時計を合わせる

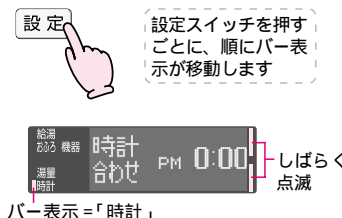
(台所リモコン)



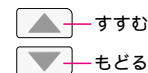
1 運転スイッチを「入」にする



2 設定スイッチを押して
バー表示を「時計」の位置にする



3 選択スイッチで 現在時刻を設定する



一度押すごとに1分ずつ、押し続けると10分ずつ変わります。



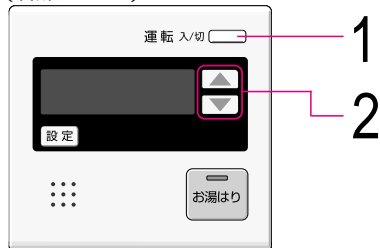
4 設定スイッチを押して
給湯表示画面に戻す



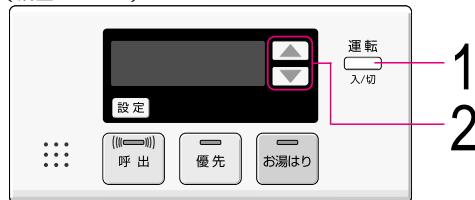
使いかた

お湯を出す/お湯の温度を調節する

(台所リモコン)



(浴室リモコン)



ここでは台所リモコンでご説明します

< 運転スイッチ「切」のとき >

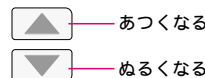
1 運転スイッチを「入」にする



前回到設定した給湯温度
(例: 40°C)

< 一度設定すると記憶します >

2 選択スイッチで給湯温度を調節する
(変更しないときは温度を確認する)



変更した給湯温度

3 給湯栓を開ける



点灯確認

4 使用後は給湯栓を閉める



点灯確認

お湯の温度の目安

(°C) 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。

32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60
食器洗いなど				シャワー、給湯など					給湯など					高温

初期設定 (工場出荷時) = 40°C

故障ではありません

* 低温 食器洗いなどに設定したときは、水温が高い場合、お湯の温度が設定温度よりも高くなる場合があります。
* 給湯栓を開けた直後は、湯温を安定させるため、一定時間湯量が少なくなることがあります。(P30)



警告



高温注意

やけど予防のために

シャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけず、リモコンの給湯温度表示を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。

60°Cに設定したときは、
・音声で「あついお湯が出ます。給湯温度を60°Cに変更しました」
・約10秒間の高温表示が点滅でお知らせします。

表示の温度をよく確かめてから使用してください。
60°Cの高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。

シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人はお湯の温度を変更しないでください。

シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人は《優先》を切り替えないでください。切り替えたほうの前回設定した温度に変わります。



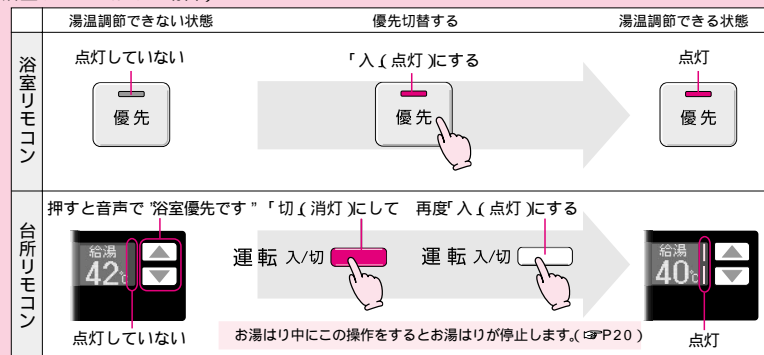
約10秒間 点滅 点灯



< リモコン表示画面 >



温度調節ができない場合は、以下の操作をしてください< 優先切替 > (設定温度は例です) (浴室リモコンがある場合)



給湯保温機能の上手な使いかた

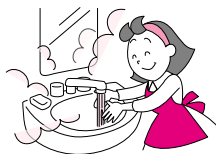
こんなお悩みを解決します

なかなか温まらずイライラ……



給湯保温機能を使えば、より早く適温が出ます。

冬の朝一番でも、より早く適温！

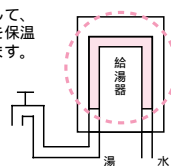


Q.「給湯保温機能」とは何？

A. 設定温度のお湯が早く出るように、本体内のお湯を保温しておく機能です。

お湯を使用していないときでも、給湯器内が冷えると保温のため燃焼します。異常ではありません。

時々燃焼して、この部分を保温しておきます。



Q. 給湯保温機能を使っても、損をしないの？

A. 早くお湯が出てくるので、お湯が出るまでに使うガス量も捨てる水の量も少なくて済みます。また、損にはなりません。

Q. 上手な使い方はありますか？

A. ①朝一番の時間帯に給湯保温予約運転の設定をしておくくと便利です。
寝る前に運転スイッチを切っても、朝には自動的に給湯保温運転を開始します。
②給湯保温予約中で、お湯を使用しないとき(寝る前や外出されるときなど)は、こまめに運転スイッチを切ってください。こまめに切った方が無駄が少なくなります。

Q. 給湯保温機能を使っても、最初に水が出るけれど？

A. 給湯配管中の水は保温できないので、その水が出るためです。

Q. 給湯保温時間帯であるはずなのに、給湯保温が切れている？

A. 給湯栓が充分閉まっていますか？

閉まっていない場合は、しっかりと閉めてください。

閉まっている場合は、給湯回路から水漏れが生じている可能性があるため、お買い上げの販売店にご連絡ください。

使いかた

給湯保温する(133-0070型,133-0072型,133-0075型のみ)

(台所リモコン)

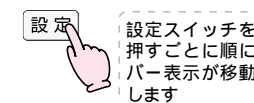


2
1,3

お湯を出していないときでも燃焼して本体内のお湯を暖め、保温し、給湯栓を開いてからお湯が出るまでの時間を短くします。
(運転「切」にして本体内が冷える場合は、本体内のお湯が十分に暖まるまで、数分間時間がかかります。)(季節によって変わります))

運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

1 設定スイッチを押してバー表示「機器」の位置にする

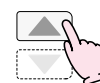


バー表示「機器」 点滅



給湯温度の確認・調節をしてください。
優先リモコンの給湯設定温度のお湯が出ます。(P14)

2 選択スイッチ(上)で給湯保温「入」にする



点滅 点滅

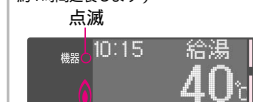


「機器」表示が点滅しているときは、給湯保温の準備中です。

3 設定スイッチで給湯表示画面に戻す



約1時間保温を続けます。
(保温中にお湯を使用すると、そこから約1時間延長します)



燃焼中 点灯
給湯保温中は「機器○」を表示
最後に設定スイッチを押し忘れた場合でも、2の段階で変更したままで確定されます。

給湯保温をやめたいとき

1～3の手順で、給湯保温の「切」を点滅させて確定してください。



運転スイッチを「切」にしても給湯保温は解除します。

約1時間お湯を使用しないと給湯保温が停止し、「機器」表示が点滅します。
(サークル表示○も点滅のまま)

<保温停止中>



<保温中>



再度お湯を使用すると、「機器」表示が点灯に変わり、お湯の使用後からさらに約1時間保温を続けます。

お湯を出すときの注意事項、温度調節範囲などは、P13～14「お湯を出す/お湯の温度を調節する」をご覧ください。

133-0080型, 133-4090型, 133-N008型, 133-4110型, 133-4112型, 133-4115型は、給湯保温機能はありません。

給湯保温の開始時刻を設定する(給湯保温予約)

給湯保温の開始時刻をあらかじめ設定しておくことができます。

(台所リモコン)

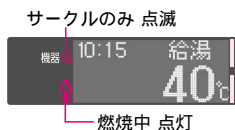


2, 3
1, 4

(例)

朝 6 時 30 分に自動的に給湯保温をはじめたい場合

給湯保温の開始時刻になると、運転「切」の場合でも、自動的に運転「入」にし、給湯保温を始めます。

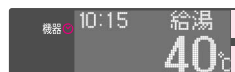


給湯保温の開始時刻は、一度設定すると記憶しています。
運転「切」にすると、給湯保温も「切」になりますが、給湯保温予約を「解除」しなければ、次回も設定した時刻に給湯保温を開始します。

給湯保温予約の設定前の準備

1. 給湯温度を確認する。
2. 現在時刻が正しいかどうか確認する。
(「時計を合わせる」P12)

4 設定スイッチで給湯表示画面に戻す



最後に設定スイッチを押したままでも、3の段階で変更したままで確定されます。

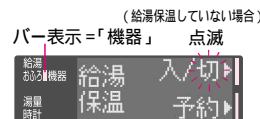
ただし現在時刻を設定していない場合は、開始時刻設定のあと続けて現在時刻の設定に入ります。
「時計を合わせる」(P12)の3～4の要領で現在時刻を設定してください。

運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

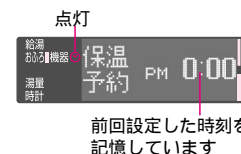
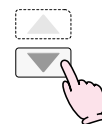
1 設定スイッチを押してバー表示「機器」の位置にする



設定スイッチを押すごとに順にバー表示が移動します



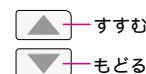
2 選択スイッチ(下)で給湯保温予約「入」にする



前回設定した時刻を記憶しています

<一度設定すると記憶します>

3 選択スイッチで開始時刻を設定する(時刻変更しない場合4へ)



一度押すごとに10分ずつ、押し続けると1時間ずつ変わります。



予約時刻 5 分前になると給湯保温開始

約1時間保温を続けます。
(保温中にお湯を使用すると、そこから約1時間延長します)

サークルのみ 点滅



給湯保温中は「機器」を表示

約1時間お湯を使用しないと給湯保温が停止し、「機器」表示が点滅します。
(タイマー表示も点滅のまま)

<保温停止中>



再度お湯を使用すると、「機器」表示が点灯に変わり、お湯の使用後からさらに約1時間保温を続けます。

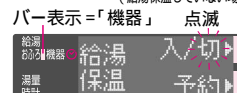
<保温中>



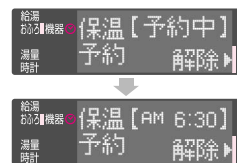
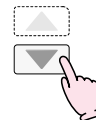
給湯保温予約をやめたいとき

(給湯保温予約時間の確認をしたいとき ①～②)

- ① 設定スイッチを押して、バー表示を「機器」の位置にする。
(給湯保温していない場合)

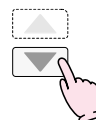


- ② 選択スイッチ(下)を押す。



予約時間の確認のみの場合は、このあと設定スイッチを押してください。(給湯表示画面に戻る)

- ③ さらに選択スイッチ(下)を押して解除する。



お風呂のお湯はりをする<オート止水>

(台所リモコン)



(浴室リモコン)



ここでは台所リモコンでご説明します

運転前の準備

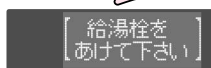
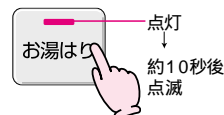
1. 浴そうの排水栓を閉める。
2. 浴そうのふたをする。
(お湯はり部分は開ける)

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする

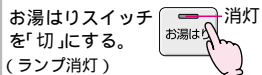


2 お湯はりスイッチを「入」にする



お湯はり温度(例: 40℃)
選択スイッチでお湯はり温度を変更できます。

給湯栓を開ける前に
お湯はりをやめたいとき



3 お風呂の給湯栓を開ける



サーモ付混合水栓の場合は、
水栓側の温度を最も高温に設定してください。

給湯栓を開けたあと
お湯はりをやめたいとき

給湯栓を開めてから、お湯はり
スイッチを押してください。
“お湯はりの設定を解除しまし
た”と音声でお知らせし、お
湯はりランプが消えるまで給
湯栓を開けないでください。

サーモ付混合水栓を使用している場合

お湯はり時は必ず水栓側の温度設定を「H」または「高」の位置までまわして使用してください。
中間の位置で使用すると、浴そうからお湯があふれる場合があります。

給湯栓の構造により「H」または「高」の位置でもお湯はり完了後、水が多少流れる場合があります。
湯温がさがったり、浴そうからお湯があふれることがありますので、メロディが鳴ったらすぐに給湯栓
を閉めてください。



やけど予防のために

高温注意

給湯栓を閉めた後、水栓側の温度設定は温度40 ぐらいの位置にもどしてください。

<オート止水>とは

浴そうにお湯をはるときお湯はり湯量を設定(☞P22)しておくと、その
量になったときにリモコンのメロディと音声“お風呂が沸きました”で
お知らせし、お湯が自動的に止まります。

(給湯栓は開いたままなので必ず閉めてください)



- ⑤ お湯はり完了後10分以内に給湯栓を閉めなかった場合は、お湯が使用できません。
その場合は、リモコンの音声や表示でお知らせしますので、それに従って操作してください。
その後、お湯が使用できます。

4 お湯はりメロディが鳴ったらお風呂の給湯栓を閉める



メロディでお知らせ

音声で“お風呂が沸きました”

“給湯栓を閉めてください”

他でお湯を使用している場合はその給湯栓も閉めてください。

<給湯栓を閉めると>

- ・しばらくして(約30秒以内)音声で“お湯はりの設定を解除しました”とお知らせします。
- ・お湯はりランプが消灯します。

<給湯栓を閉めなかったら>

メロディが鳴ってから約10分間、給湯栓が閉まったかどうかを確認するため自動的に機
器が水を流し、給湯栓から少量の水が出たり止まったりします。
給湯栓を閉めると水は止まります。

<メロディが鳴ってから給湯栓を閉めないまま約10分経過したら>

<お湯はりに給湯栓を開けたままで運転スイッチまたはお湯はりスイッチを「切」にしたら>
下記のような音声や表示が出ますので、それに従って操作してください。

音声	“給湯栓を閉めてください” “お湯はりスイッチを押してください”		
表示	【全ての給湯栓を しめて下さい】	【お湯はりスイッチを 押して下さい】	【運転スイッチを 押して下さい】
	【しばらく おまち下さい】	左の表示が出た場合は、 “お湯はりの設定を解除しました”と音声でお知 らせしてお湯はりランプが消えるまで、給湯栓を開 けないでください。	

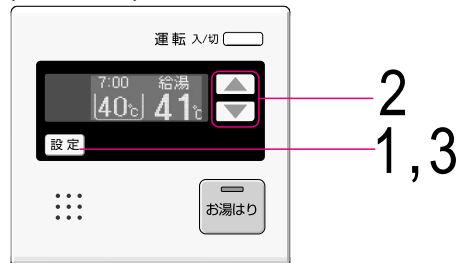
音量を「なし」に設定するとお湯はりメロディは鳴りません。(☞P24)

お湯はりに、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、お湯はり温度のお湯が出ます。
お湯はりに、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、使用した分だけお湯はり量が少なくなります。
前日などの残り湯(水)があるときは、その分だけ設定した温度よりぬるくなります。
残り湯(水)がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴そうに残っているお湯(水)
の量だけ、設定したお湯はり湯量より多くなります。

使いかた

お湯はり温度(ふろ温度)を調節する

(台所リモコン)



ここでは台所リモコンでご説明します

運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

1 設定スイッチを押して
バー表示「おふろ」の
位置にする

設定スイッチを
押すごとに順に
バー表示が移動
します

バー表示 = 「おふろ」
しばらく
点滅

前回設定したお湯はり温度
(例: 40℃)

2 選択スイッチで
お湯はり温度を
調節する

▲ あつくなる
▼ ぬるくなる

変更したお湯はり温度
(例: 42℃)

3 設定スイッチで
給湯表示画面に戻す

お湯はり温度
最後に設定スイッチを押し忘れ
た場合でも、2の段階で変更
した温度で確定されます。

お湯はり温度の目安

(℃: 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、
実際の温度とは異なります。)

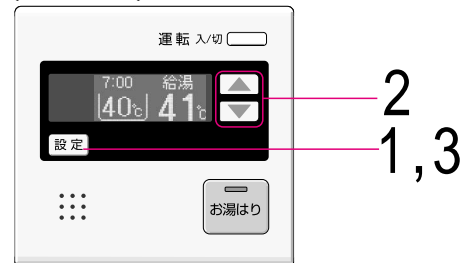
37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ		ふつう									あつめ

初期設定(工場出荷時)=40℃

使いかた

お湯はり湯量を調節する

(台所リモコン)



ここでは台所リモコンでご説明します

運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

1 設定スイッチを押して
バー表示「湯量」の
位置にする

設定スイッチを
押すごとに順に
バー表示が移動
します

バー表示 = 「湯量」
しばらく
点滅

前回設定したお湯はり湯量
(例: 180L)

2 選択スイッチで
お湯はり湯量を
調節する

▲ ふえる
▼ へる

変更したお湯はり湯量
(例: 200L)

3 設定スイッチで
給湯表示画面に戻す

最後に設定スイッチを押し忘れ
た場合でも、2の段階で変更
した湯量で確定されます。

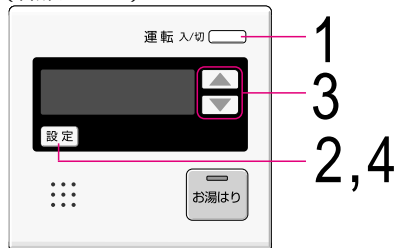
お湯はり湯量

40~260(20Lきざみ)・300・350・400の値で
設定ができます。

初期設定(工場出荷時)=180L

各設定を変更する(リモコンの音量・音声ガイド、表示の節電)/連絡先を表示させる

(台所リモコン)



(1) 次のような設定の変更ができます

リモコンの音量	それぞれのリモコンで設定してください
リモコンの音声ガイド	
リモコンの表示の節電	

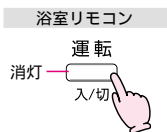
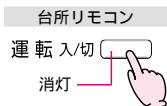
(2) リモコンに連絡先(電話番号)を表示できます

(浴室リモコン)



1 運転「切」にする

運転「切」の状態でのみ、各設定の変更ができます。



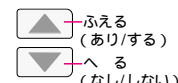
2 設定スイッチを押す



押すごとにそれぞれの設定に切り替わります。

次ページ 2

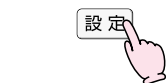
3 選択スイッチで変更する



それぞれの変更をします。

次ページ 3

4 設定が完了すれば設定スイッチを押す



続けて他の設定を変更する場合は、再度2～4の手順で変更してください。

そのまま機器を使用する場合は、運転スイッチを押して「入」にしてください。

使用しない場合は、そのまま約20秒放置しておくと運転「切」の状態に戻ります。

初期設定(工場出荷時)

	2 設定スイッチを押す (押すごとに切り替わります)	3 選択スイッチで変更する
音量	音量 中	なし 小 中 大 「なし」の設定でも「呼び出し音」は鳴ります。
音声ガイド	音声ガイド なし	あり 操作音と声でお知らせします なし 操作音のみでお知らせします 操作音と声の両方とも鳴らさないにするには、「音量」を「なし」に設定してください。
表示の節電	表示の節電 する	する 無駄な電力消費を防ぐため、また画面の焼付防止のため、機器を使用しないまま約10分(浴室リモコンはお湯はりの機能を使った場合約1時間)たつと画面表示が消えます。 (運転ランプのみ点灯) お湯を出したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。 給湯温度を60℃に設定している場合は、安全のため、表示の節電はしません。 しない 運転「入」の状態ならば、画面表示は消えませんが、画面の焼付防止のため、機器を使用しないまま約10分(浴室リモコンはお湯はりの機能を使った場合約1時間)たつと画面の状態が変わります。(スクロール表示) お湯を出したり、スイッチを押すと、スクロール表示を解除します。
連絡先電話番号表示	連絡先電話番号表示	故障のときなど、サービスを依頼される場合に、この方法をご覧ください。 連絡先電話番号が入力されていない場合があります。その場合はこの画面にはなりません。

凍結による破損を予防する

お願い

- *暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必ず必要な処置をしてください。
- *凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料修理になります。

機器内は凍結予防ヒーターで自動的に凍結予防します

電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かない。

(運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。)

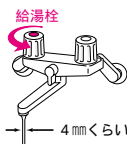
- *給水・給湯配管や、給水元栓などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒータを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。(わからないときは、販売店に確認してください。)

冷え込みが厳しいときは、さらに以下の処置をする。

(外気温が極端に低くなる日(-15℃以下)や、それ以上の気温でも風のある日)

機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。

1. 運転スイッチを「切」にする。
2. ガス栓を閉める。
3. おふろの給湯栓を開いて、少量の水(1分間に約400cc・・・太さ約4mm)を流したままにしておく。
サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定してください。
4. 流量が不安定になることがあるので、約30分後に再度流れる量を確認する。
結露現象予防として、運転スイッチ「切」の状態でご湯栓から水を出さないようにお願いしています(※P4)。凍結予防の処置の場合は問題ありません。



- *おふろのお湯はりを解除せずに放置すると、凍結する場合があります。
リモコンの表示にしたがって操作し、お湯はりを解除してください。
- *サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。
やけど予防のため。
- *この処置をしても凍結するおそれのある場合には、次ページの要領で水抜きをおこなってください。

凍結して水が出ないとき

1. ガス栓・給水元栓を閉める。
2. 運転スイッチを「切」にし、給湯栓を開ける。
3. とくとき給水元栓を開け、水が出ることを確認する。
4. 水が出るようになって、機器や配管から水漏れがないかよく確認の上使用してください。

凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。機器の故障の原因となります。

長期間使用しないときは、水抜きをしてください

以下の要領で水抜きをしてください。

注意



お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

水抜き栓などからお湯または水が約700cc出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

1. ガス栓を閉める。
2. 運転を「切」にする。
3. 2の操作より10秒以上経過後、電源プラグを抜く。
ぬれた手でさわらない

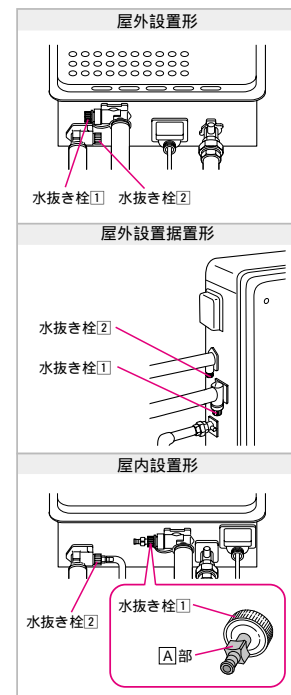
4. 給水元栓を閉める。
5. すべての給湯栓を全開にする。

6. <屋外設置形の場合>
水抜き栓①②を左に回して開け、外す。

<屋内設置形の場合>

- ①水抜き栓①の[A]部をゆるめて水を抜く。
- ②水抜き栓②をゆるめて水を抜く。
- ③水抜き栓①の[A]部と水抜き栓②を外す。

7. 6の操作より10分以上経過後、完全に排水したことを確認し、水抜き栓①(屋内設置形の場合は[A]部)と水抜き栓②、およびすべての給湯栓を閉める。



再使用のとき

1. 水抜き栓(2ヶ所)が閉まっていることを確認する。
2. すべての給湯栓が閉まっていることを確認する。
3. P11「初めてお使いになるときは」の手順にしたがってください。

日常の点検・お手入れのしかた

⚠ 注意



点検・お手入れは、リモコンの運転「切」または、電源プラグを抜いておこなってください。
お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

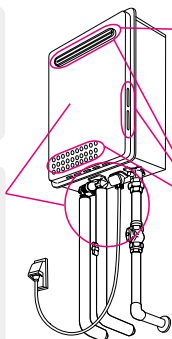
点 検 (定期的)

チェック 機器や排気口・給排気筒トップのまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー・缶など、燃えやすいものを置いていないか？

➔ 燃えやすいものを置かない。(P2)

チェック * 機器の外観に異常な変色や傷はないか？
* 運転中に機器から異常音が聞こえないか？
* 機器・配管から水漏れはないか？

➔ 現象があった場合は、販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。



(例：133-0070型)

チェック 排気口・給排気筒トップにススがついていないか？

➔ ついていたら、販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。

チェック 排気口・給気口・給排気筒トップがほりなどでふさがっているか？

➔ ふさがっている場合は、掃除する。

お手入れ (定期的)

機器本体

機器の外装の汚れは、ぬれた布で落としたあと、充分水気をふきとってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

リモコン

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。

リモコンの掃除にはベンジンや油脂系の洗剤を使用しないでください。

変形する場合があります。

浴室リモコン・防水型増設リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

(台所リモコン・増設リモコンは防水タイプではありません。)

お手入れ (定期的)

水抜き栓のフィルター

水抜き栓のフィルターにゴミ等が詰まると、お湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

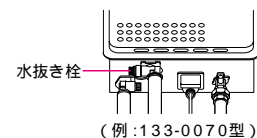
お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、リモコンの運転を「切」または、電源プラグを抜いて機器が冷えてからおこなってください。(やけど予防のため)

水抜き栓などからお湯または水が出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

1. 給水元栓を閉める。



2. すべての給湯栓を開ける。



(例：133-0070型)

【屋外設置形の場合】

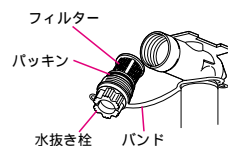
3. 水抜き栓を外す。(注1)

4. 配管とつながっているバンドから外す。

5. フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。

(注2)

6. 元どおりに水抜き栓を取り付ける。



【屋内設置形の場合】

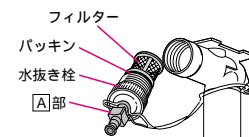
3. [A]部を開け、水が完全に抜けたら、水抜き栓を外す。(注1)

4. 配管とつながっているバンドから外す。

5. フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。

(注2)

6. 元どおりに水抜き栓を取り付け、[A]部を開める。



(注1) このとき水(湯)が出ます。

(注2) 水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルターの間のパッキンをなくさないように注意してください。

7. すべての給湯栓を閉める。

8. 給水元栓を開け、水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する。

< 定期点検のすすめ (有料) >

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。販売店にご相談ください。

故障・異常かな？と思ったら-1

「温度」に関すること

給湯栓を開いてもお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> * ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ * 断水していませんか？ * 給湯栓は充分開いていますか？ * ガスメーター(マイコンメーター)がガスをしゃ断していませんか？ * LPガスの場合、ガスがなくなっていないですか？ * 水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まっていますか？ (P28) * 凍結していませんか？ (P25) * 運転スイッチは「切」になっていませんか？ * 電源プラグが抜けていませんか？ * 給湯栓を閉め忘れていませんか？ ムダなお湯が出るのを防ぐため、機器が自動的にお湯を止めます。 リモコン表示を確認し、表示に従って操作してください。 (P20)
給湯栓を開いてもすぐお湯にならない	* 機器から給湯栓まで距離があるので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。
低温のお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> * ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ * 給湯温度設定は適切ですか？ (P13, 14) * 水温が高いときに低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。 * 少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。
高温のお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> * ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ * 給湯温度設定は適切ですか？ (P13, 14) * 冬期など、水温が低いときに高温のお湯を多く出そうとすると、設定した温度(高温)のお湯が出ない場合があります。 給湯栓を少し閉じてお湯の量を少なくすれば、設定したお湯の温度になります。
給湯栓を絞ると水になった	* 給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約3.5L以下になったとき消火します。 給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
給湯温度の調節ができない	* 浴室リモコンがある場合、操作しているリモコンに優先切替していますか？ (P14)
設定したお湯はり温度にならない	* 前日など残り湯(水)があるときは、その分だけ設定した温度よりぬるくなります。

「湯量」に関すること

給湯栓から出るお湯の量が変化する	<ul style="list-style-type: none"> * お湯を使用中、他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があります。水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、いったん止まる場合がありますが、しばらくすると安定します。 * 給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。 * お湯の温度を安定させるため、お湯の出初めは少なく出し、安定するとお湯をたくさん出すように機器側で制御します。
お湯はりの量が設定した湯量にならない	<ul style="list-style-type: none"> * お湯はり中に台所・他でお湯を使用すると、使用した分だけお湯はりの量が少なくなります。 * 残り湯(水)がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴そうに残っている湯(水)の量だけ、設定したお湯はりの湯量より多くなります。
設定量までお湯はりしてもお湯はりメロディが鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> * お湯はりメロディは、機器で燃焼したお湯が設定量連続して出ると鳴るしくみです。サーモ付混合水栓の場合、水栓で水を混ぜるので、設定したお湯はり量より水の分だけ多いところでメロディが鳴ります。 * 音量を「なし」に設定していませんか？ (P24) 音量「なし」の設定の場合、お湯はりメロディは鳴りません。

故障・異常かな？と思ったら-2

「リモコン」に関すること

運転ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> * 停電していませんか？ * 電源プラグが差し込まれていますか？
リモコンの時計表示が「0：00」になっている	<ul style="list-style-type: none"> * 停電後、再通電すると表示画面の時計表示が「0：00」になることがあるので、設定しなおしてください。(P12)
停電または電源プラグを抜いた後、給湯温度が変わってしまう	<ul style="list-style-type: none"> * 停電または電源プラグを抜いた後、再通電すると給湯設定温度がお買い上げ時の設定に変わる場合がありますので設定しなおしてください。
リモコンの画面表示がいつのまにか流れるように動いている	<ul style="list-style-type: none"> * 機器を使用しないまま約10分たつと、画面の焼付防止のため、画面の状態が変わります。(スクロール表示)(P24) お湯を出したり、スイッチを押すと、スクロール表示を解除します。
リモコンの画面表示がいつのまにか消えている	<ul style="list-style-type: none"> * 表示の節電「する」に設定した場合、機器を使用しないまま約10分たつと、画面表示が消えます。(表示の節電)(P24) お湯を出したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
スイッチを押してもそのスイッチの動作をしない (例)運転スイッチを押して「切」にしたはずなのに切れていない など…	<ul style="list-style-type: none"> <呼び出し・お湯はりスイッチ以外のスイッチの場合> * 表示の節電中やスクロール表示中にスイッチを1回押すとその状態を解除し、もう1度押すとそのスイッチの機能がはたらきます。運転「入・切」は、ランプ「点灯・消灯」で確認してください。
表示の節電の状態にならない	<ul style="list-style-type: none"> * 表示の節電「する」の設定になっていますか？(P24) * 給湯温度を60℃に設定している場合は、表示の節電にはなりません。
お湯はり完了後、お湯はりランプが消灯しない	<ul style="list-style-type: none"> * お湯はり完了後、使用していたすべての給湯栓を閉めていないおそれがあります。リモコン表示を確認し、表示に従って操作してください。(P20)

「音」に関すること

運転を停止してもしばらくの間ファンの回転音(ブーン)がする 運転スイッチを「入・切」したり、給湯栓を開閉したり、機器の使用後しばらくすると、モータが動く音(クックッ、クー、ウィーン)がする	<ul style="list-style-type: none"> * 再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。故障ではありません。
---	--

その他

使用中に消火した	<ul style="list-style-type: none"> * ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ * 断水していませんか？ * 給湯栓は充分開いていますか？ * ガスメーター(マイコンメーター)がガスをしゃ断していませんか？ * LPガスの場合、ガスがなくなっていないですか？
お湯はり完了後、水が出たり止まったりする	<ul style="list-style-type: none"> * 給湯栓が閉まったかどうかを確認するために機器が自動的に水を流すので、蛇口から少量の水が出たり止まったりします。使用しているすべての給湯栓を閉めれば止まります。
寒い日に排気口・給排気筒トップから湯気が出る	<ul style="list-style-type: none"> * 冬に吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気が白く見えるためです。
お湯が白く濁って見える	<ul style="list-style-type: none"> * これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール・サイダーなどの泡と似た現象であり汚濁とは違い、無害です。
機器の給湯側の水抜き栓(過圧防止安全装置)からお湯(水)が少しの間出ることがある	<ul style="list-style-type: none"> * 機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきにより、水抜き栓から水滴がおちることがあります。
浴そうや洗面台が青く変色した	<ul style="list-style-type: none"> * 浴そうや洗面台が水中に含まれる微量の銅イオンと脂肪分(湯あか)により青く着色することがありますが健康上問題ありません。浴そうや洗面台をこまめに掃除することにより、着色しにくくなります。
お湯を使っていないのに燃焼する(燃焼する音がする)	<ul style="list-style-type: none"> *【133-0070、-0072、-0075の場合】給湯保温予約をしている場合は、予約時間帯になると燃焼します(燃焼する音がします)。

故障・異常かな？と思ったら-3

故障表示をお調べください

不具合が生じたとき、時計表示部に故障表示が点滅します。
下表に応じた処置をしてください。

故障表示点滅

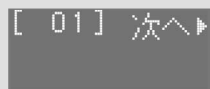


(表示は例です)

故障表示	原因	処置
01	給湯を連続60分以上運転したため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
11	点火エラーが生じたため	運転スイッチを「切」にし、ガス栓が開いているか、ガスメーター(マイコンメーター)がガスをしゃ断していないか、またはLPガスがなくなっていないかを確認して、問題があれば処置してください。 その後運転スイッチを「入」にし、給湯栓を開いて表示が出なければ正常です。

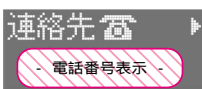
— 以下の場合、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください —

- ・上記以外の表示(例: [61] など)が出るとき
- ・上記の処置をしてもなお表示が繰り返し出るとき
- ・その他、わからないとき



左のような表示が出た場合は、[次へ] スイッチを押していくことにより、連絡先電話番号を見ることができます

< 次のような表示が出ます >



連絡先電話番号が入力されていない場合があります。その場合、電話番号表示は出ません。



製品名

アフターサービスについて

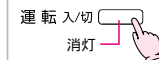
サービスを依頼されるとき

P29～33の「故障・異常かな？と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

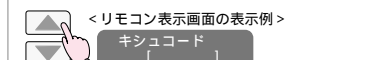
連絡していただきたい内容

製品名 下記要領で、リモコンで製品名をお調べください

1 運転スイッチを「切」にする



2 選択スイッチ(上)を 2秒 押す



< リモコン表示画面の表示例 >

キッシュコード

[製品名]

製品名をお知らせください。

運転スイッチを「入」にするか、しばらくすると、表示が消えます。

お買い上げ日 保証書をご覧ください

異常の状況 故障表示など、できるだけ詳しく

ご住所・ご氏名・電話番号

訪問ご希望日



保証について

別添に保証書がついています。

必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。

保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10年です。

但し、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで機器を移設されるときは、機器(銘板)に表示してあるガスの種類・電源(電圧)が移設先と合っているか必ずご確認ください。

不明のときは、移設先のガス事業者・販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設されるときは、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

主な仕様

仕様表

24号				
製 品 名	133-0070型	133-0072型	133-0075型	133-0080型
型 式 名	GQ-2417WXA	GQ-2417WXA-T	GQ-2417WXA-TB	GQ-2417RXA
種 類	先止め式			
設 置 方 式	屋外設置形			
点 火 方 式	放電点火式			
水 圧	使用水压 kPa 98.1～981			
作 動 水 圧	kPa 9.81			
最低作動流量 L/分	3.5			
外 形 寸 法	mm 高さ520×幅350×奥行170			高さ630×幅500×奥行200
質 量 (本 体)	kg 17			23
接 続 口 径	給 湯 R3/4(20A)			
	給 水 R3/4(20A)			
	ガ ス R1/2(15A)			
	電 源 AC100V(50/60Hz)			
電 気 関 係	消費電力 (50/60Hz) W 51/51	61/61(都市ガス13A) 60/60(LPガス)		55/55(都市ガス13A) 54/54(LPガス)
	凍結予防ヒータ 125			
待機消費電力 W	運転スイッチ「入」約3.2(省電力モード：約2.8)「切」約2.6 <台所リモコン取付>			
湯 温 制 御 方 式	電子式ガス比例制御方式			
安 全 装 置	立消入安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置			

		24号			
製	品	名	133-N008型		
型	式	名	GQ-2417WXA-FFB		
種	給	湯	方	式	
類	設	置	方	式	
点	火	方	式		
水	使用水压	kPa	98.1～981		
圧	作動水压	kPa	9.81		
最低	作動流量	L/分	3.5		
外	形	寸	法	mm	
質	量(本	体)	kg	20	
接	給	湯	R3/4(20A)		
	給	水	R3/4(20A)		
	ガ	ス	R1/2(15A)		
	電	源	AC100V(50/60Hz)		
電	消	費	電	力	
気	(50/60Hz)	W	78/78		
関	係				
	待機消費電力	W	運転スイッチ「入」約5.8(省電力モード：約3.0)「切」約2.9 <台所リモコン取付>		
湯	温	制	御	方	式
			電子式ガス比例制御方式		
安	全	装	置	立消入安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置	

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
- ・但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

16号					
製 品 名		133-4110型	133-4112型	133-4115型	133-4090型
型 式 名		YS1654R	YS1654RT	YS1654RM	GQ-1617RXA
種 類	給 湯 方 式	先止め式			
	設 置 方 式	屋外設置形			
点 火 方 式		放電点火式			
水	使用水压 kPa	98.1～981			
圧	作動水压 kPa	9.81			
最低作動流量 L/分		3.5			
外 形 寸 法 mm		高さ520×幅350×奥行170			高さ630×幅500×奥行200
質 量(本 体) kg		15			21
接 続 口 径	給 湯	R1/2(15A)			
	給 水	R1/2(15A)			
	ガ ス	R1/2(15A)			
	電 源	AC100V(50/60Hz)			
電 気 関 係	消 費 電 力 (50/60Hz) W	41/41	57/57(都市ガス13A) 54/54(LPガス)		41/41
		凍結予防ヒータ 125			
	待機消費電力 W	運転スイッチ「入」約3.2(省電力モード：約2.8)「切」約2.6 <台所リモコン取付>			
湯 温 制 御 方 式		電子式ガス比例制御方式			
安 全 装 置		立消入安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置			

能力表

製品名は仕様表を参照してください。

24号	型式名	GQ-2417WXA, GQ-2417WXA-T, GQ-2417WXA-TB, GQ-2417RXA, GQ-2417WXA-FFB			
使用ガス		1時間当りのガス消費量(最大消費量) kW		出湯能力(最大時) L/分	
都市ガス		13A		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
LPガス		52.3		24	15

・型式GQ-2417WXA-FFBは、都市ガス13Aのみです。

16号	型式名	YS1654R, YS1654RT, YS1654RM, GQ-1617RXA			
使用ガス		1時間当りのガス消費量(最大消費量) kW		出湯能力(最大時) L/分	
都市ガス		13A		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
LPガス		34.9		16	10